

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2274202528		
法人名	医療法人財団 百葉の会		
事業所名	グループホーム百葉清水浪漫館 2階		
所在地	静岡県静岡市清水区高橋2丁目9番15号		
自己評価作成日	令和6年1月18日	評価結果市町村受理日	令和6年3月22日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	https://www.kaisokensaku.mhlw.go.jp/22/index.php?action=kouhou_detail_022_kanistrue&UjrvosyoCd=2274202528-00&ServiceCd=320&Type=search
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社第三者評価機構 静岡評価調査室		
所在地	静岡市葵区材木町8番地1 柴山ビル1F-A		
訪問調査日	令和6年3月7日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

今年度は、5月からコロナも5類に移行され、長かったコロナ禍から今までの日常を取り戻す為の1年だったように思います。入所者様との外出企画や、慰問ボランティアの受け入れ、ご家族様の面会緩和、家族会、地域運営会議の対面実施等、少しずつではありますが、ご家族様、地域の方との距離感を是正するべく、様々な活動を再開してきました。また、年末に実施した法人アンケートでも今までにない嬉しいご意見も頂けるようになり、日常の取り組みが評価されつつあるように感じています。引き続き、穏やかで安心した生活をお過ごし頂けるようサービス提供に努めて参ります。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

外部評価の度に「記録の確かな事業所である」と認められる何某かの発見がある事業所です。今回は、運営推進会議の議事録の活動報告に月日が入り、時系列に記載されるとともに、その解説が付記されていることに目を奪われました。地域密着型としての取組も確かで、職員がサンタクロースに扮したクリスマス会、赤鬼となつての豆まき、年始には福笑いや初詣と、これまでの暮らしが続くよう時節行事を丁寧におこない、またその都度行事食が提供され、舌でも季節の移ろいを味わっています。母の日には花が贈呈され、誕生日には洋服や鉢植え、ひざ掛けなど、本人が欲しいものを選んでもらったバースディプレゼントで祝っています

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者の <input type="radio"/> 2. 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての家族と <input type="radio"/> 2. 家族の2/3くらいと <input type="radio"/> 3. 家族の1/3くらいと <input type="radio"/> 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	<input type="radio"/> 1. 毎日ある <input type="radio"/> 2. 数日に1回程度ある <input type="radio"/> 3. たまにある <input type="radio"/> 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	<input type="radio"/> 1. ほぼ毎日のように <input type="radio"/> 2. 数日に1回程度 <input type="radio"/> 3. たまに <input type="radio"/> 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2. 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	<input type="radio"/> 1. 大いに増えている <input type="radio"/> 2. 少しずつ増えている <input type="radio"/> 3. あまり増えていない <input type="radio"/> 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2. 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> 2. 職員の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 職員の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2. 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2. 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2. 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> 2. 家族等の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 家族等の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2. 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんどいない			

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	毎朝の朝礼にて理念とこやまケア行動指針唱和を継続している。毎月1条を取り上げ、様々な場所に掲示し意識の啓発に努めている。	理念と行動指針は毎朝の朝礼で唱和を重ね、更に強化月間として毎月1つを取り上げるとともに掲示することで意識を高めています。また新人についても入職時 オリエンテーリングで理念を説明しています	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	コロナも緩和され、少しずつ地域との関りが増えてきた。運営推進会議、外出企画、日常の買い物等、感染対策をしながら地域における暮らしを実現している。	地域の店舗には、可能であれば本人同伴でお誕生日プレゼントを選びに出掛けており、洋服屋や花屋は顔なじみになっています。徐々に緩和を進め、デイサービスにボランティア訪問があれば一緒に楽しんでいます	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	併設デイサービスからの入所や緊急短期入所の利用等を受けている。また、先日道路にしゃがみこんでいる認知症高齢者を保護し、警察に繋げたこともあった。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	今年度より集合形式での運営推進会議を再開しており、町会長さん、民生委員さん、包括職員さん等、地域代表の方々にご意見を伺っている。	書面開催が続いていましたが、5類移行を受けて本年度には地域から4名、家族3名の出席が実現しています。出席者からは自身の想いや考えも挙がっていて、「地域の会議」へ発展していることを感じます	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	加算要件、運営要件についての相談や、各種提出書類は郵送せず窓口へ訪問することは継続している。同報メールにて行政からの通知は日々確認しており、漏れがないよう努めている。	静岡市からの同報メールの確認は欠かさずおこない、必要に応じて窓口にも出向いています。階下のデイサービスには運営推進会議でもお世話になっている地域包括支援センターから利用者照会があります	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束0宣言を掲げており、身体拘束に該当する行為はない。施錠に関しては防犯という意味で運番終了後の20:00を目安に施錠をするようにしている。	身体拘束排除に向けた指針は本年度から法人で統一した書式となり、改めて内容に基づく委員会会議に取り組んでいます。記録からは事例検討に向き合う様子とともに職員の知識と見識が十分な事も確認できます	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止委員会の開催、勉強会の開催など、職員の虐待防止意識の啓発に努めている、特によく知らない声掛けは虐待の入り口と捉え、厳しく指導している。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	実際に入所者に3組の成年後見人の方が付いており、関りがあるものの、制度について学ぶ機会は設けられておらず、来期の課題と捉えている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約関連は管理者である所長が行っており、ご家族に不安や疑問が残らないよう努めている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	日常における電話や面会時でのやり取りを基本とし、家族会、法人アンケート等、ご家族のご意見・ご希望を吸い上げる仕組みを用意している。	家族アンケートには感謝の言葉が躍り、なおかつ「掃除をしっかりと、特に床」との苦言も挙がっていて、家族と良好な関係を築いていることが伝わります。運営推進会議を通じた意見交換があることも強味です	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	部署会議や会議に参加できない職員へのアンケートを通じて、意見や提案を吸い上げている。また年に2回の所長面談も思いを伝える場になっていると感じる。	近年の業界状況では珍しくシフト表の氏名に外国人はなく、事業所の職員環境が整備されていて定着率が高いことが覗え、年2回の面談がよりよく機能し、管理者や所長が職員の気持ちを汲んでいることが覗えます	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	上記の所長面談や今期から湖山Gで始まった職員アンケートの意見を通じて環境改善に努めており、浪漫館は今期のストレスチェックにおいて、法人内でストレスが少ないグループ群とされていた。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	コロナ禍も緩和され、毎月全体会議内で集合形式の勉強会を行っている。また、職種別研修、認知症基礎研修、実践者研修、新人OJT、実務者指導者研修等、職員の立ち位置や希望に合わせて研修の場を用意している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	コロナ禍は緩和されたが、意識的に同業他社と関りを持つ機会は設けられていない。法人内の事業所同士の関りも一部の職員のみが業務で交流している程度である。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご入居頂く前にお住まいに伺い、ご本人のご要望や心配点、生活歴等は必ずお聞きし、安心してご入居頂けるよう努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご入居頂く前にお住まいに伺い、ご家族様のご意見、ご希望等は必ずお聞きし、不安点を解決するよう心掛けています。また契約時も十分な時間をかけて対応しています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	初回面談の際に現状と問題点、ご要望をお聞きして、場合によってはデイサービスや訪問サービスを勧める場面もあった。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	家族的な関係性を築いていく為に、その方に合わせた家事活動等をお願いしたり、お誕生日にはフロアの方全員でお祝いできるように企画している。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	体調については些細な変化も報告をするようにしている。また毎月写真付きのお手紙を送付し、なかなか会いに来ることが出来ない方々にも喜んで頂いている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族だけでなく、古い友人や親戚とおっしゃる方等、コロナ禍以前より、面会にいらっしゃる方が増えたように感じる。	職員がサンタクロースに扮したクリスマス会、年始にはかるたや福笑いのほか初詣と、これまでの暮らしが続くよう時節行事を丁寧におこない、またその都度行事食が提供され、舌でも季節の移ろいを味わっています	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずにご利用同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	お客様同士の関係性を見極め、配席を決めている。レクや企画の際も組み合わせに配慮している。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	看取りケアを実践しており、ほとんどの方がサービス終了=ご逝去となる為、その時点でお付き合いが終了する形になる。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居時ご本人、ご家族への聞き取りや、日常の中でご本人の希望を汲み取れるよう努めている。最近ではデイ利用からの入所が多く、デイ職員との連携にも努めている。	階下のデイサービスからの入居者が増えていて、階下職員との連携も意向確認に役立っています。読書が趣味の2名は、職員が定期的に図書館へ随伴しており、意向に沿った支援がおこなわれています	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	「お客様勉強会」を続けて3年目になる。あらためてその方の人生を振り返ることで、尊厳を持ったケアに繋がりたいと考えている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	部署会議での状況報告、日々の申し送り等を通じて皆様の現況把握に努めている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	介護職、看護師、医師やご家族の意見を伺って、その方の現状にあったプランになるよう努めている。	1表の意向欄には本人と家族の要望が話し言葉でそのまま掲載されており、また2表のサービス内容には「(水分や食事について)全量摂取を目指して介助をおこなう」とあり、真摯な姿勢が伝わります	5類に移行となったこともあり、2表の担当者欄には家族や他のサービスなど地域資源も入ることを期待します
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	電子記録導入から3年目になり、情報抽出、共有がしやすくなった。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご家族様やご本人からのニーズに関しては可能な限り実現する努力をし、型にとらわれないサービスの提供を心掛けている。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	コンビニ、薬局、酒屋、花屋、図書館等は日常生活範囲の中で活用している、今年度は外出企画でドリブラや水族館、秋葉山等へも出かけることができた。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	往診が月に2回あるが、その際もフロアリーダーと看護師が同席し、日常の様子を正確に医師に伝えられるよう心掛けている。	月2回の訪問診療にはリーダーと事業所の看護師、介護支援専門員が立ちあっています。医師が看護師を帯同することもあります。その看護師が医師の指示で事業所へ訪れる事もあって、連携が図られています	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	医師、訪問看護師、介護職、看護師ともに密な連携がなされており、利用者に合った適切な医療が提供されていると考える。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	ケアマネ、管理者が病院の相談員さんを窓口として病院での様子を確認している。退院の際は極力ご家族と一緒に対応するようにし、状況、注意点等を確認している。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居契約の際に看取り指針の説明を行い、同意を得ている。また、その際にご家族の看取りについての考え方も確認している。実際に看取り期に突入した際、医師からの説明と私達のできるケアを説明してから、サービスを提供している。	契約時には「看取り介護・重度化に係る指針」にて家族に説明し、同意書を交わしています。此処一年では1名を見送っており、医師の親身な対応を受けることが叶い、またターミナルケア加算も取得しています	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	今期は10月、11月に事故発生時勉強会、緊急時対応勉強会を開催した。窒息時の対応として職員同士で実技も行った。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	総合訓練、夜間想定、水害想定等の訓練等、年間計画に沿って実施している。昨年の台風による浸水で得た経験は何十回訓練をするよりも財産になっている。	水害訓練を含み、災害に係る訓練は年3回実施するとともに「1階に重たいものは置かない」等、水害体験からの学びを現在役立てています。備蓄は3日を基準として、不足分は法人で必要数を届ける旨の連絡が入っています	

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	「優しい声掛け」が出来る職員は「個を尊重したケア」が出来ると捉えて指導している。また虐待防止に最も大切な要素だとも考えている。	誕生月ではなく誕生日のお祝いがあり、歌やケーキで賑やかな宴とともに「寒くなったから」とひざ掛けがプレゼントされるといったことが継続され、一人ひとりの有用感を高めており、利用者への尊重が伝わります	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	会話が成立する方からは直接思いや希望をお聞きするようにしている。またそれが難しい方からは職員が思いを汲みとるよう心掛けている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本としての1日の流れはあるが、その中でそれぞれの生活リズムに合わせた時間配分等で過ごして頂いている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	職員と一緒に洋服を選んだり、ご家族へ衣替えのお願いをしたり、季節感と清潔感を大切にしている。2カ月に一度、訪問美容が来所され、整髪も行っている。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	平日の昼夕はデイサービス栄養課からの食事提供を継続しており、好評を得ている。可能な方には食後のテーブル拭きや、食器拭きをお願いすることもある。	実食者の欄を設けた実食簿が備わり、主観ではなく一定の物差しで整備された項目による所見チェックが10項目に渡って日々取組まれています。これらは食中毒予防にもつながるものです	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養士が設計した献立の為、栄養バランスには自信がある。食形態や水分も一人一人に合わせた形で提供しており、摂取量についても記録している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後口腔ケアを実施。歯ブラシ、口腔スポンジ、マウスウォッシュ等、その方が可能な口腔ケアを展開している。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	7名が布パン、11名が紙パンツを着用している。薬を服用している方も多く、なかなか紙パンツ利用を減らしていくのが難しい状況だが、定期誘導や排泄サインを見逃さないよう努めている。	平均介護度2.78なもの、7名が布パンツと壮健です。「リハパンに変えたい位の失敗もたまにあるが、布パンを継続している」「布団が乾く位の量なら続けられる」との職員の言葉に、介護への熱意が感じられます	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分摂取と運動が基本だが、薬を服用している方が多い為、薬のコントロールを丁寧にやっている。場合によってはデイ看護師による排便を行うこともある。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	入浴は「週2回・午後に行う」といった基本的な取り決めはあるが、なるべく希望に沿った提供を心掛けている。また年に数回、ゆず湯などのイベント風呂の企画も行っている。	年末年始入浴企画と題して、りんご湯・ゆず湯・花湯を代わるがわる実施、よい香りが充満した色鮮やかなお風呂には利用者も大いに歓び、職員のやりがいにもつながりました	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	起床時間、昼寝の時間、就寝時間等、その方のリズム、ペースを大切に声掛けをおこなっている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬局との連携があり、全て一包化されている。職員の間での情報共有や服薬手順等もだいぶ浸透してきており、服薬に関する事故は少なくなった。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	お客様勉強会を通じて、その方の生活歴を知った上で、ゴミ捨てや掃除、飲酒や手作業といったその方の好きなこと、可能なことを実践して頂いている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	コロナ対応の緩和が始まった今期は、ドリブラ、水族館、初詣等の外出企画を実施した。またご家族様との外出外泊も多かった1年であった。	体操で足腰を維持し、好天日の散歩も励行しています。少人数で日を置いて実施することでドライブも定着しており、初詣のほかドリームプラザや水族館へも足を延ばすできています	

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	法人方針として利用者の現金の預かりは行っていない為、物品購入の際は事業所からの立替金で対応することになっている。支払いの際、レジでのやり取りが可能な方にはご本人にお願いしている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話を望まれる方には職員立会いの下おつなぎしている。時代もあり携帯電話をお持ちの方は、深夜に家族にかけてしまったりとあらたに管理の問題も出てきている。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ハード面では南側に建物がない為、日差しがしっかりと入って心地が良い。室内は季節に応じた装飾がなされたり、ご本人の塗り絵や習字等も飾らせて頂いている。	日常点検として電子血圧計や加湿器、車いすなど14種の使用器具のチェックを毎日おこない、フロアの温度、湿度の計測のほか冷蔵庫・冷凍庫の温度も記録されており、快適な環境と衛生管理が図られています	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	フロアは通常の食事の席とソファ席がある為、皆様思い思いの場所でくつろぐことができる。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	馴染みの家具の持ち込みは推奨しているが、これも時代なのか、家具や布団も新しく購入してお持ちになるご家族が増えている。	車いすを使う6名の居室では、スペースも考慮して職員が出入りを支援しており、本人が室内で操作することはほとんどありません。リクライニング式から一般の車いすに変更となってベッドの位置を移動した例はあります	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	その方の残存能力が十分に発揮できるよう、DSのリハ職員の評価も含め、移動、環境について検討しながら進めている。		

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2274202528		
法人名	医療法人財団 百葉の会		
事業所名	グループホーム百葉清水浪漫館 3階		
所在地	静岡県静岡市清水区高橋2丁目9番15号		
自己評価作成日	令和6年1月18日	評価結果市町村受理日	令和6年3月22日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	https://www.kaisokensaku.mhlw.go.jp/22/index.php?action=kouhou_detail_022_kanistrue&jirvosyoCd=2274202528-00&ServiceCd=320&Type=search
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社第三者評価機構 静岡評価調査室
所在地	静岡市葵区材木町8番地1 柴山ビル1F-A
訪問調査日	令和6年3月7日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

今年度は、5月からコロナも5類に移行され、長かったコロナ禍から今までの日常を取り戻す為の1年だったように思います。入所者様との外出企画や、慰問ボランティアの受け入れ、ご家族様の面会緩和、家族会、地域運営会議の対面実施等、少しずつではありますが、ご家族様、地域の方との距離感を是正するべく、様々な活動を再開してきました。また、年末に実施した法人アンケートでも今までにない嬉しいご意見も頂けるようになり、日常の取り組みが評価されつつあるように感じています。引き続き、穏やかで安心した生活をお過ごし頂けるようサービス提供に努めて参ります。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

外部評価の度に「記録の確かな事業所である」と認められる何某かの発見がある事業所です。今回は、運営推進会議の議事録の活動報告に月日が入り、時系列に記載されるとともに、その解説が付記されていることに目を奪われました。地域密着型としての取組も確かで、職員がサンタクロースに扮したクリスマス会、赤鬼となつての豆まき、年始には福笑いや初詣と、これまでの暮らしが続くよう時節行事を丁寧におこない、またその都度行事食が提供され、舌でも季節の移ろいを味わっています。母の日には花が贈呈され、誕生日には洋服や鉢植え、ひざ掛けなど、本人が欲しいものを選んでもらったバースディプレゼントで祝っています

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者の <input type="radio"/> 2. 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての家族と <input type="radio"/> 2. 家族の2/3くらいと <input type="radio"/> 3. 家族の1/3くらいと <input type="radio"/> 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	<input type="radio"/> 1. 毎日ある <input type="radio"/> 2. 数日に1回程度ある <input type="radio"/> 3. たまにある <input type="radio"/> 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	<input type="radio"/> 1. ほぼ毎日のように <input type="radio"/> 2. 数日に1回程度 <input type="radio"/> 3. たまに <input type="radio"/> 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2. 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	<input type="radio"/> 1. 大いに増えている <input type="radio"/> 2. 少しずつ増えている <input type="radio"/> 3. あまり増えていない <input type="radio"/> 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2. 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> 2. 職員の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 職員の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2. 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2. 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2. 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> 2. 家族等の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 家族等の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2. 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんどいない			

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている			
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している			
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている			
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている			
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる			
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる			
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている			

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している			
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている			
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている			
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている			
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている			
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている			
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている			

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている			
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている			
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている			
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている			
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている			
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている			
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている			

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている			
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している			
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている			
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている			
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している			
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている			
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる			

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している			
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している			
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している			
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。			
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる			
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている			
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている			

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている			
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている			
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している			
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している			
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている			
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている			
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている			

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている			
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる			
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている			
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している			
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている			
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている			
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している			

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している			
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている			
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている			
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている			
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている			
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活を送れるように工夫している			